

諏訪の景気動向

平成21年11月

(平成21年10月末 D・I調査)

平成21年11月19日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成21年10月末）

「平成21年10月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方188社のご協力を得て行った10月末の「景気動向調査（D I調査）」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは10.1と前回調査時（平成21年7月末、以下同）の2.1から8.0ポイント改善し2期連続のプラスとなった。製造業では37.7%の企業が「好転」したとして同D Iは23.2と前回調査時の7.4から15.8ポイント改善しているものの、非製造業では40.0%の企業が「悪化」したとして同D Iは Δ 26.0と前回調査時の Δ 11.8から14.2ポイント悪化するなど、業種や企業により景況感は区々となっている。

製造業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業37.7%、「悪化」企業14.5%で同D Iは23.2と前回調査時の7.4から15.8ポイント改善し2期連続のプラスとなった。受注状況D Iは「3ヶ月前比」では「増加」企業が40.9%で同D Iは22.6と、前回調査時の15.3から更に改善している。ただし、「3ヶ月後」の受注予想D Iでは「増加」とする企業が10.4%あるものの、「減少」とする企業が26.7%あり同D Iは Δ 16.3と前回調査時の5.8から再びマイナスに転じた。規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「1～29人企業」14.7、「30～99人企業」30.2、「100人以上企業」33.3と全ての規模で前回調査時より改善しているものの、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは全ての規模でマイナス幅が拡大しており、先行きには慎重な見方をしている企業が多い。

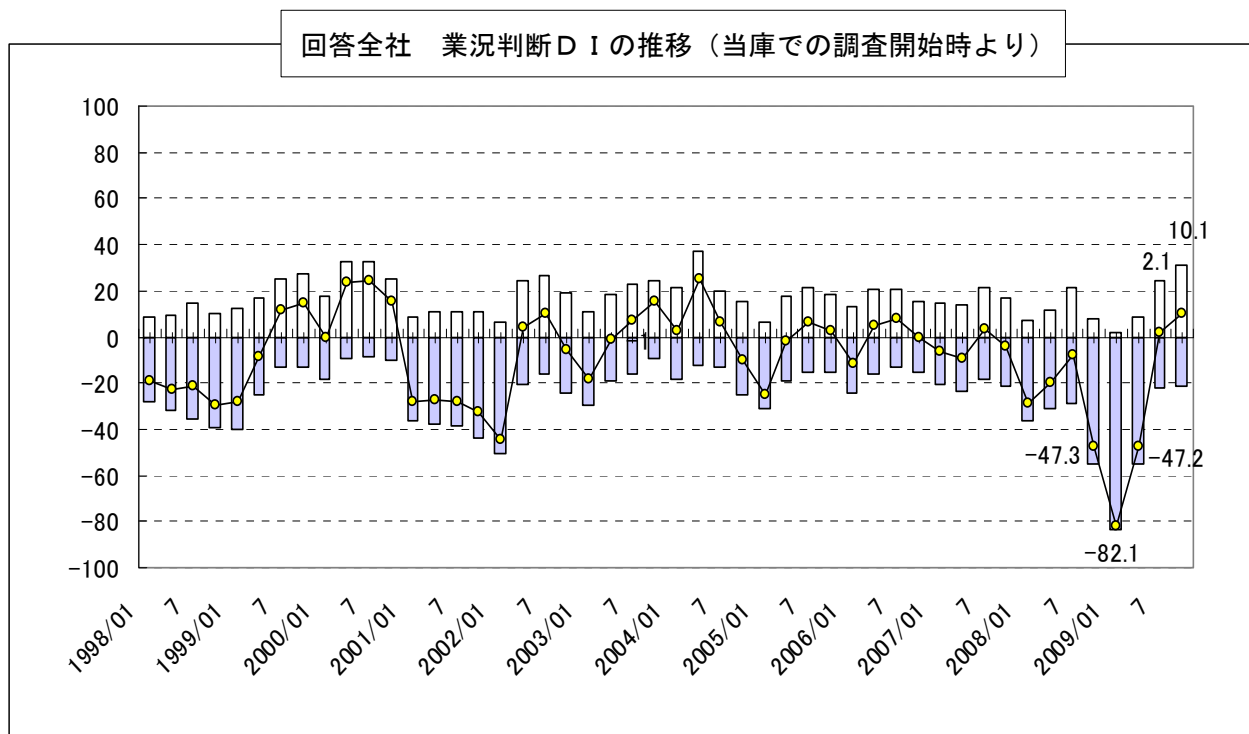
今回調査の「3ヶ月前」と比べた各D I値は前回調査に続いて改善傾向となっているが、これは各国の経済対策の効果や大手企業が適正在庫に戻す動き、さらにはクリスマス商戦に向けた商品の作り込みによる一時的な受注の改善であり、「3ヶ月後」の受注予想D Iが Δ 16.3とマイナスに転じたように、年末以降の受注に不安を持つ企業が多くなっている。

商業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「横這」企業が50.0%、「悪化」企業が50.0%で「好転」とする企業が無いことから、同D Iは Δ 50.0と前回調査時から8.3ポイント悪化した。また、商品価格の引き下げなどから「3ヶ月前比」・「前年同期比」での来店客数は増加している店舗がみられるものの、「前年同期比」の客単価D Iは Δ 75.0と大きくマイナスとなっている。食料品では客単価の下落傾向が続いており、来店客数は維持しているものの前年同月比の売上高は横這いから若干前年を下回った店舗が多い。自動車販売は、諏訪地方の10月の車庫証明件数（軽除く）は989台で前年同月比 Δ 8.3%の減少とエコカー減税等の効果から春先に比べるとマイナス幅は縮小しているものの、国内の10月の新車販売台数（軽除く）は前年同月比12.6%増加しており、同水準に比べると弱含みで推移している。気温の低下からホームセンターや家電店では、暖房器具に動きがみられた。

観光・サービス業の「前年同期」と比べた業況判断D Iは、「悪化」とする施設が 60.9%を占めるものの「好転」とする施設が 8.7%あることから、同D Iは△52.2 と前回調査時の△60.9 から幾分改善した。また、9月のシルバーウィーク等の効果から「3ヶ月前比」の業況判断D I及び宿泊客数D Iでは「好転」したとする企業割合が増加したことから、マイナス幅は縮小している。ただし、「3ヶ月後」の宿泊客数予想D Iでは 91.3%の施設で「悪化」を見込み、同D Iは△82.6 と冬季の集客が課題となっている。飲食店からは、平日はサラリーマン客の減少、週末は家族客が新型インフルザによる学級閉鎖などの影響から減少しているとの声がきかれる。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業 6.7%、「悪化」企業 33.3%で同D Iは△26.7 と前回調査時と同数値となった。また、受注状況は「3ヶ月前比」、「前年同期比」では「好転」したとする企業が幾分あるものの、「3ヶ月後」の予想では「好転」を見込む企業はなく、先行きは慎重な見方となっている。建築工事は、諏訪地方の9月の新設住宅着工件数は 99戸で、昨年同月の 152戸から△53戸（△34.8%）減少、平成 21年 4月～9月の累計着工戸数は 631戸で前年同期の 855戸に比べ△224戸（△26.1%）と大幅に減少している。

雇用状況は、平成 21年 9月の諏訪地方の有効求人倍率は前年同月を△0.80ポイント下回り 0.41倍と対前年比で 24ヶ月連続して低下した。また、長野県の同倍率は 0.40倍、全国の同倍率は 0.43倍となっている。なお、諏訪地域の9月の新規求人（全数）は 956人で前年同月比△251人（△20.8%）の減少、新規求職者数は 974人で前年同月比+165人（+20.4%）の増加となっている。また、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 137人と前年同月より 67人増加、前月より 8人の増加となったが、1件 10人以上の人員整理は 15ヶ月振りに 0件となった。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(188社)の「3ヶ月前比」の業況判断DIは、「好転」企業が31.4%、「横這」企業が47.3%、「悪化」企業が21.3%と、前回調査時より「好転」とする企業割合が増加したことから、同DIは10.1と前回調査時の2.1から8.0ポイント改善し2期連続のプラスとなった。

製造業の業況判断DIは、「好転」したとする企業が37.7%あり同DIは23.2と前回調査時の7.4から更に15.8ポイント改善した。また、規模別では「30~99人企業」の44.2%、業種別では「金属製品」の66.7%の企業で「好転」したとしている。

非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の業況判断DIは△26.0と前回調査時の△11.8から14.2ポイント悪化した。商業の50.0%、観光・サービス業の39.1%の企業が「悪化」したとしており、引き続き消費マインドの低迷がみられる。

産業別業況表

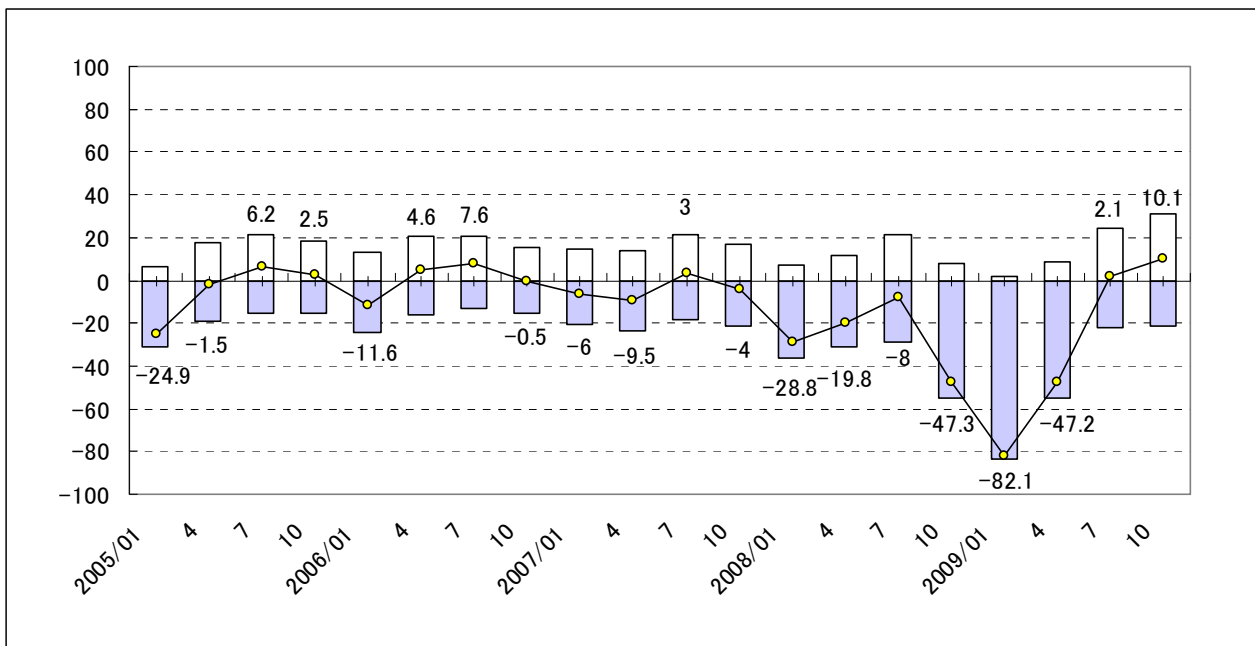
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	188	31.4	47.3	21.3	10.1	188	4.3	23.9	71.8	-67.6	187	7.5	62	30.5	-23
製造業	138	37.7	47.8	14.5	23.2	138	4.3	20.3	75.4	-71	137	8.8	67.9	23.4	-14.6
非製造業	50	14	46	40	-26	50	4	34	62	-58	50	4	46	50	-46
商業(大型店)	12	0	50	50	-50	12	0	25	75	-75	12	0	75	25	-25
建設業	15	6.7	60	33.3	-26.7	15	0	46.7	53.3	-53.3	15	0	60	40	-40
観光・サービス	23	26.1	34.8	39.1	-13	23	8.7	30.4	60.9	-52.2	23	8.7	21.7	69.6	-60.9

自社業況判断DIの推移

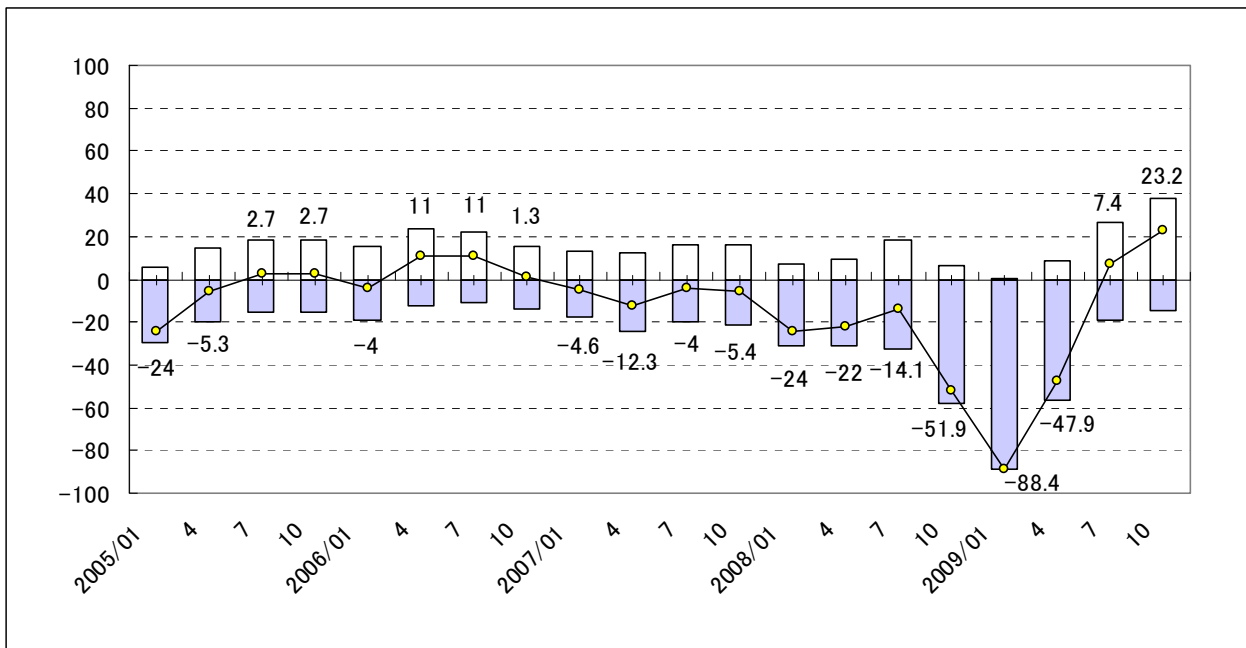
●回答全社：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-1



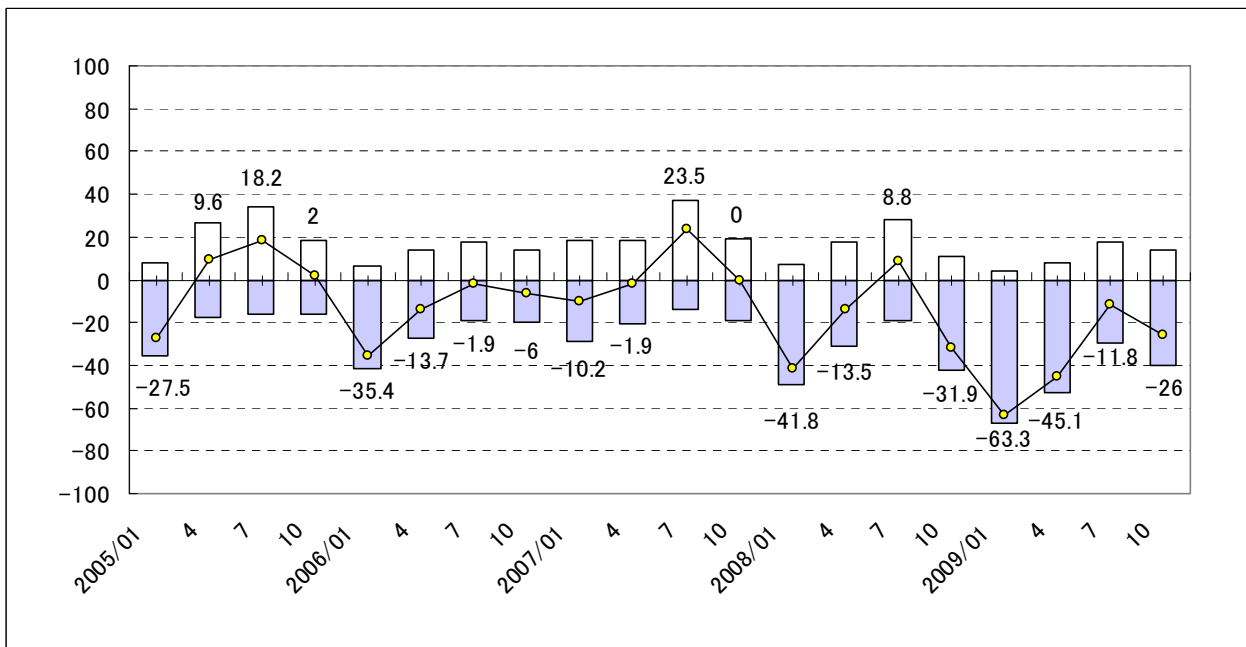
●製造業：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-2



●非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-3



産業別景気動向

1. 製造業

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業 37.7%、「悪化」企業 14.5%で同D Iは23.2と前回調査時の7.4から15.8ポイント改善し2期連続のプラスとなった。ただし、「3ヵ月後」の業況予想D Iでは「横這」とする企業割合が最も多いものの、「悪化」とする企業が23.4%あり同D Iは△14.6と前回調査時の1.5から再びマイナスに転じた。

収益性D Iでは、「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が15.2%、「悪化」した企業が21.0%で、同D Iは△5.8と前回調査時の△26.1から20.3ポイント改善している。なかでも、「30～99人企業」の同D Iは0.0と前回調査時の△29.3から大幅に改善している。ただし、「3ヶ月後」の収益予想D Iでは製造業全社の29.4%で「悪化」を予想しており、同D Iは△23.5と前回調査時の△15.2からマイナス幅が拡大した。なお、企業規模が小さいほど「悪化」を見込む企業割合が大きくなっている。

受注状況D Iでは、「3ヶ月前」と比べ受注が「増加」した企業が40.9%あり同D Iは22.6と、前回調査時の15.3から更に改善している。ただし、「3ヶ月後」の受注予想では「増加」とする企業が10.4%あるものの、「減少」とする企業が26.7%あり同D Iは△16.3と前回調査時の5.8から再びマイナスに転じた。なかでも、「100人以上企業」の「3ヶ月後」の受注予想D Iは△3.7と前回調査時の37.9から41.6ポイントの大幅な悪化となりマイナスに転じた。

ヒアリング調査では、地域製造業は2月～4月に下げ止まったあと各国の経済政策の効果や大手企業が適正在庫に戻す動き、さらには例年のクリスマス商戦に向けた商品の作り込みなどから足元の生産状況は幾分改善してきている。ただし、「3ヶ月後」の受注予想D Iが△16.3とマイナスに転じたように、年末以降の受注に不安を持つ企業が多くなっている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	138	37.7	47.8	14.5	23.2	138	4.3	20.3	75.4	-71	137	8.8	67.9	23.4	-14.6	
規模	1～29人	68	33.8	47.1	19.1	14.7	68	2.9	23.5	73.5	-70.6	67	9	61.2	29.9	-20.9
	30～99人	43	44.2	41.9	14	30.2	43	4.7	20.9	74.4	-69.8	43	11.6	69.8	18.6	-7
	100人～	27	37	59.3	3.7	33.3	27	7.4	11.1	81.5	-74.1	27	3.7	81.5	14.8	-11.1
分類	金属製品製造業	15	66.7	33.3	0	66.7	15	6.7	26.7	66.7	-60	15	0	73.3	26.7	-26.7
	一般機械器具製造業	37	32.4	45.9	21.6	10.8	37	5.4	24.3	70.3	-64.9	36	11.1	61.1	27.8	-16.7
	電気機械器具製造業	28	50	39.3	10.7	39.3	28	7.1	10.7	82.1	-75	28	7.1	75	17.9	-10.7
	輸送用機械器具製造業	16	50	43.8	6.3	43.8	16	0	18.8	81.3	-81.3	16	18.8	68.8	12.5	6.3
	精密機械器具製造業	13	23.1	61.5	15.4	7.7	13	0	15.4	84.6	-84.6	13	7.7	53.8	38.5	-30.8

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

「3ヶ月前比」の業況判断D Iは「好転」企業が66.7%を占め、「悪化」企業がないことから同D Iは66.7と前回調査時の55.6から更に11.1ポイント改善し、5業種のなかで最も高い数値となった。ただし、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは5業種の中で唯一「好転」を見込む企業はなく、「横這」とする企業が73.3%を占めており、同D Iは $\Delta 26.7$ と弱含みの横這い状況を予想している。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは10.8と前回調査時の $\Delta 8.3$ から19.1ポイント改善しプラスに転じた。しかし、「3ヶ月前」と比べ「悪化」したとする企業は5業種の中で最も多い21.6%と、景況感は企業により区々となっている。また、「3ヶ月後」の業況予想では27.8%の企業が「悪化」を見込んでおり、同D Iは $\Delta 16.7$ と前回調査時の2.8からマイナスに転じている。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業が50.0%あり同D Iは39.3と前回調査時の3.6から大幅に改善した。また、「前年同期比」の業況判断では「悪化」企業が大半ではあるものの、「好転」とする企業も7.1%みられる。「3ヶ月後」の業況予想では「横這」企業が75.0%と最も多いものの、「悪化」企業が17.9%あり同D Iは $\Delta 10.7$ と前回調査時の20.7からマイナスに転じている。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業が50.0%あり同D Iは43.8と前回調査時の35.7から更に改善した。また、「3ヶ月後」の業況予想では「悪化」とみる企業が12.5%あるものの、「好転」を見込む企業が18.8%あることから同D Iは6.3と5業種の中で唯一プラスを維持している。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「横這」とする企業が61.5%を占め同D Iは7.7と5業種の中で最も低い数値となっている。また、「前年同期比」の業況判断D Iは $\Delta 84.6$ 、「3ヶ月後」の業況予想D Iは $\Delta 30.8$ と全D I値とも5業種の中で最低値となっている。

②小分類、他の製造業

小分類では、「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iはプレス加工が57.1、自動車関連部品が42.9と高水準になっている。また、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは、自動車関連部品が14.3とプラスを維持するものの、プレス加工では「好転」を見込む企業は無く同D Iは $\Delta 42.9$ と大幅なマイナスに転じている。そのほか、食料品製造業では「3ヶ月前比」・「前年同月比」・「3ヶ月後の予想」のいずれも「好転」とする企業はなく業況の弱含みがみられる。

③規模別業況

製造業の規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「1～29人企業」14.7、「30～99人企業」30.2、「100人以上企業」33.3と全ての規模で前回調査時より改善しており、「1～29人企業」では前回調査時の△3.0からプラスに転じた。ただし、「3ヵ月後」の業況予想DIは、「100人以上企業」で「好転」企業3.7%、「悪化」企業14.8%の同DI△11.1と前回調査時の24.1からマイナスに転じるなど、全ての規模でマイナス幅が拡大しており先行きには慎重な見方をしている企業が多い。

④受注状況DI（規模別、業種別）

製造業全社の受注状況DIは「前年同期比」では△72.8と依然として大幅なマイナスとなっているものの、「3ヶ月前比」では「増加」企業が40.9%で同DIは22.6と、前回調査時の15.3から更に改善している。ただし、「3ヶ月後」の受注予想DIでは「増加」とする企業が10.4%あるものの、「減少」とする企業が26.7%あり、同DIは△16.3と前回調査時の5.8から再びマイナスに転じた。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前比」では「100人以上企業」の51.9%、「30～99人企業」の50.0%で「増加」したとして同DI値はそれぞれ前回調査時より10ポイント以上改善している。ただし、「3ヶ月後」の受注予想DIでは、全ての規模で「減少」とする企業割合が増加しており、なかでも前回調査時には41.4%の企業が「増加」としていた「100人以上企業」が、今回調査では「増加」企業11.1%、「悪化」企業14.8%で同DIは△3.7と前回調査時の37.9から41.6ポイントの大幅な悪化となりマイナスに転じた。

業種別では、主要5業種の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは金属製品の73.3%、輸送用機械の56.3%の企業で「増加」しており、同DIは29.6と前回調査時の21.8から7.8ポイント改善した。ただし、「3ヶ月後」の受注予想DIは主要5業種の全てで「悪化」を見込む企業割合が増えたことから、同DIは△13.2と前回調査時の8.3から再びマイナスに転じた。

業種別・規模別受注状況表

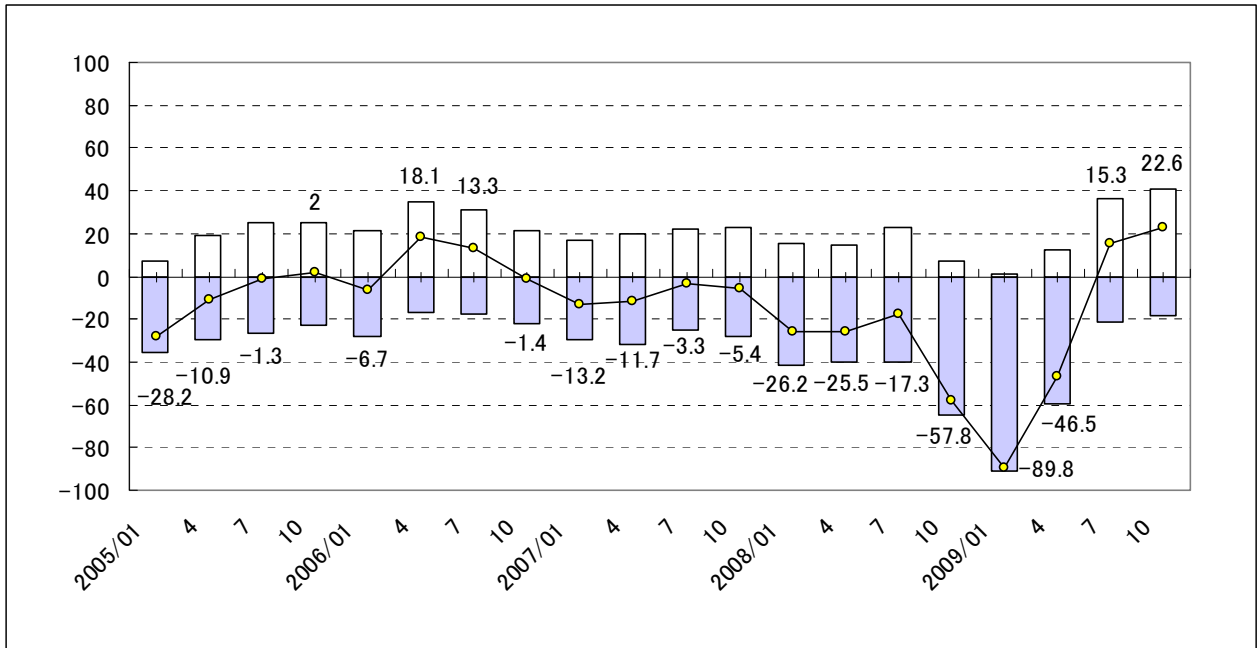
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	137	40.9	40.9	18.2	22.6	136	4.4	18.4	77.2	-72.8	135	10.4	63	26.7	-16.3	
規模	1～29人	68	30.9	50	19.1	11.8	67	3	20.9	76.1	-73.1	66	9.1	59.1	31.8	-22.7
	30～99人	42	50	26.2	23.8	26.2	42	7.1	16.7	76.2	-69	42	11.9	61.9	26.2	-14.3
	100人～	27	51.9	40.7	7.4	44.4	27	3.7	14.8	81.5	-77.8	27	11.1	74.1	14.8	-3.7
分類	金属製品製造業	15	73.3	20	6.7	66.7	15	13.3	13.3	73.3	-60	15	6.7	60	33.3	-26.7
	一般機械器具製造業	37	35.1	43.2	21.6	13.5	36	2.8	25	72.2	-69.4	35	17.1	57.1	25.7	-8.6
	電気機械器具製造業	27	51.9	33.3	14.8	37	27	11.1	7.4	81.5	-70.4	27	7.4	74.1	18.5	-11.1
	輸送用機械器具製造業	16	56.3	31.3	12.5	43.8	16	0	18.8	81.3	-81.3	16	18.8	68.8	12.5	6.3
	精密機械器具製造業	13	23.1	53.8	23.1	0	13	0	15.4	84.6	-84.6	13	7.7	46.2	46.2	-38.5

製造業の受注状況D Iの推移

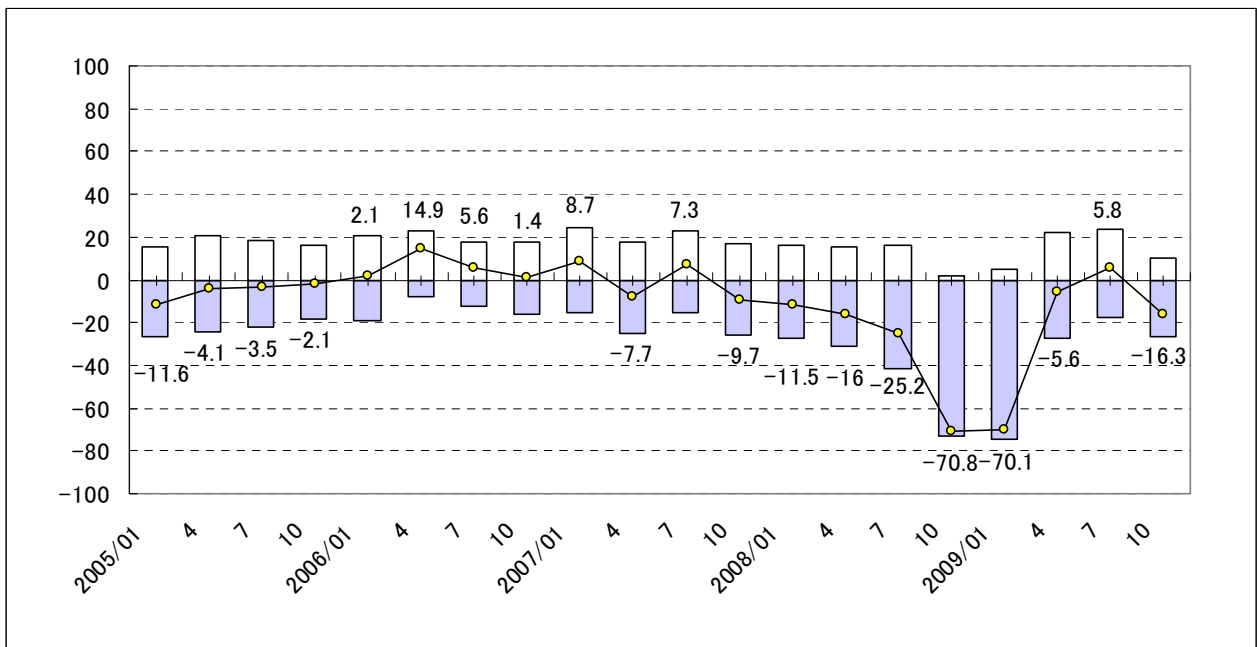
●全社：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-4



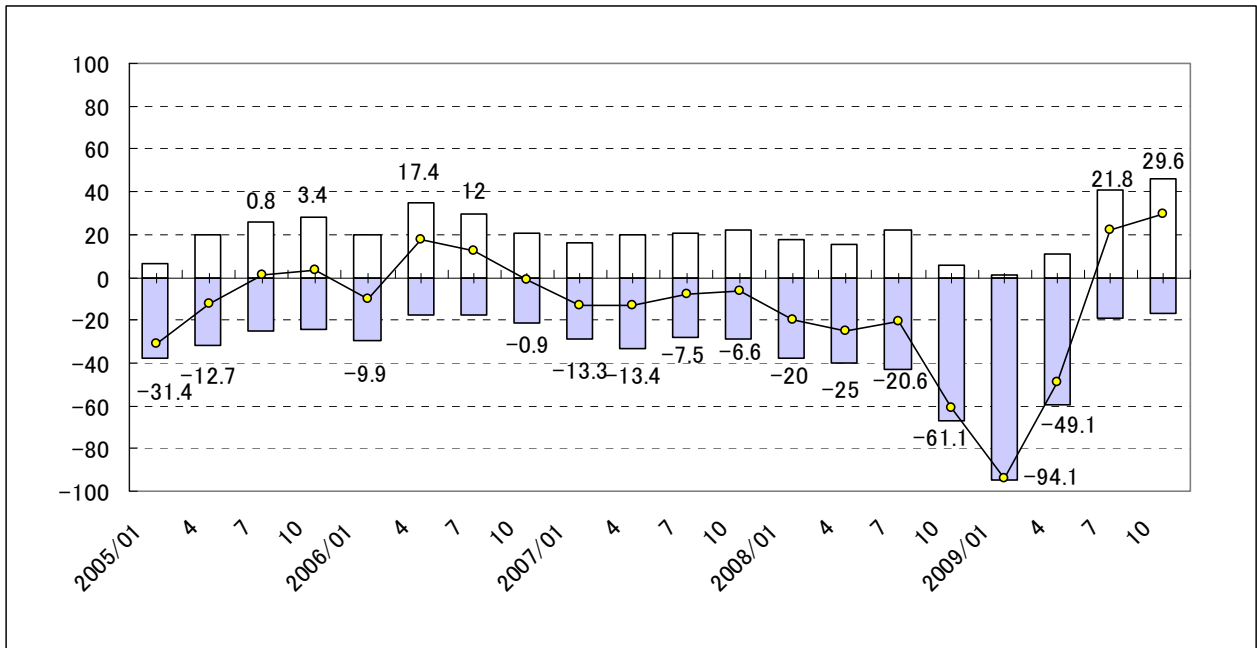
●全社：「3ヶ月後」の予想

グラフ-5



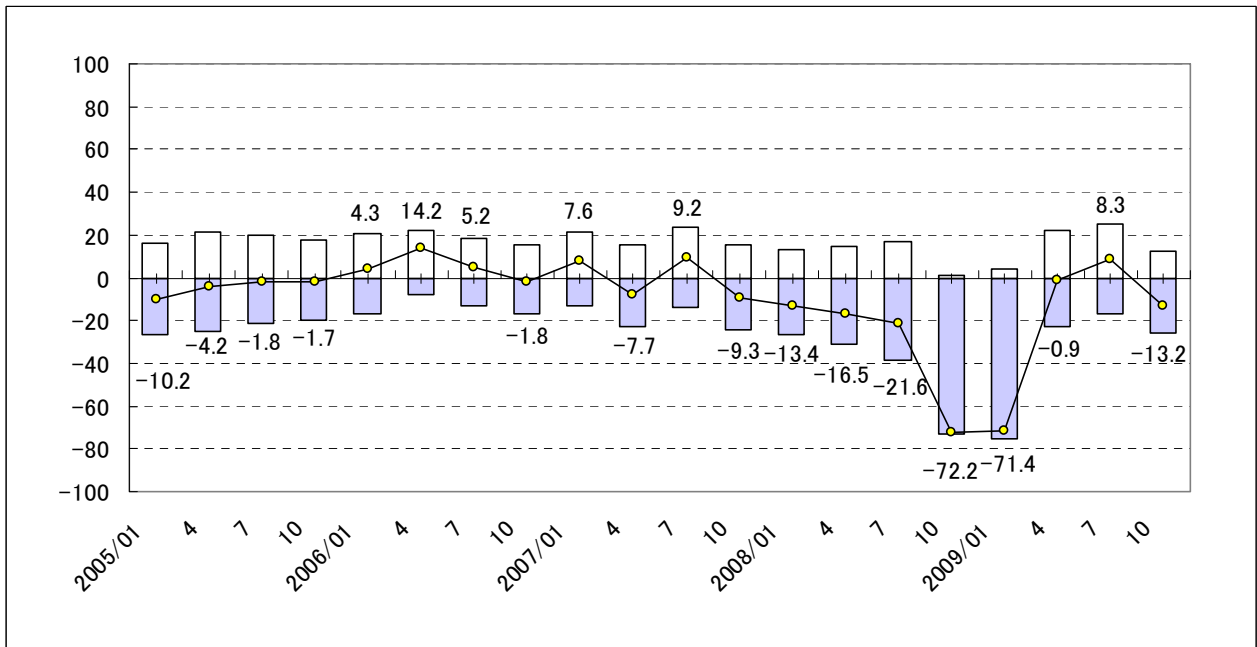
●主要5業種：「3ヶ月前」と比べて

グラフー6



●主要5業種：「3ヶ月後」の受注予想D Iの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

①商業

諏訪地方の10月の天候は台風の影響から多雨となり、寒気の南下もあり気温の低い日が多かった。

「3ヶ月前」と比べて業況判断DIは、「横這」企業が50.0%、「悪化」企業が50.0%で「好転」とする企業が無いことから、同DIは△50.0と前回調査時から8.3ポイント悪化した。また、商品価格の引き下げなどから「3ヶ月前比」・「前年同期比」での来店客数は増加している店舗がみられるものの、「前年同期比」の客単価DIは△75.0と大きくマイナスとなっている。

- 食料品 客単価の下落傾向は続いており、来店客数は維持しているものの前年同月比の売上高は横這いから若干前年を下回った店舗が多い。
- 衣料品 気温の低下からジャンパーなどの秋物衣料に幾分動きがあったものの、総体の売れ行きは引き続き低調に推移している。
- 自動車 諏訪地方の10月の車庫証明件数（軽除く）は989台で前年同月比△90台（△8.3%）の減少であるが、エコカー減税等の効果から春先に比べるとマイナス幅は縮小している。ただし、国内の10月の新車販売台数（軽除く）は前年同月比12.6%増加しており、同水準に比べると弱含みで推移している。
- ホームセンター 漬物用品等の季節商材の動きは堅調であり、寒気の南下に伴う気温の低下から暖房器具も売れ行きを伸ばした。
- 大型家電店 薄型TVの動きは引き続き堅調であり、暖房器具にも動きがみられた。

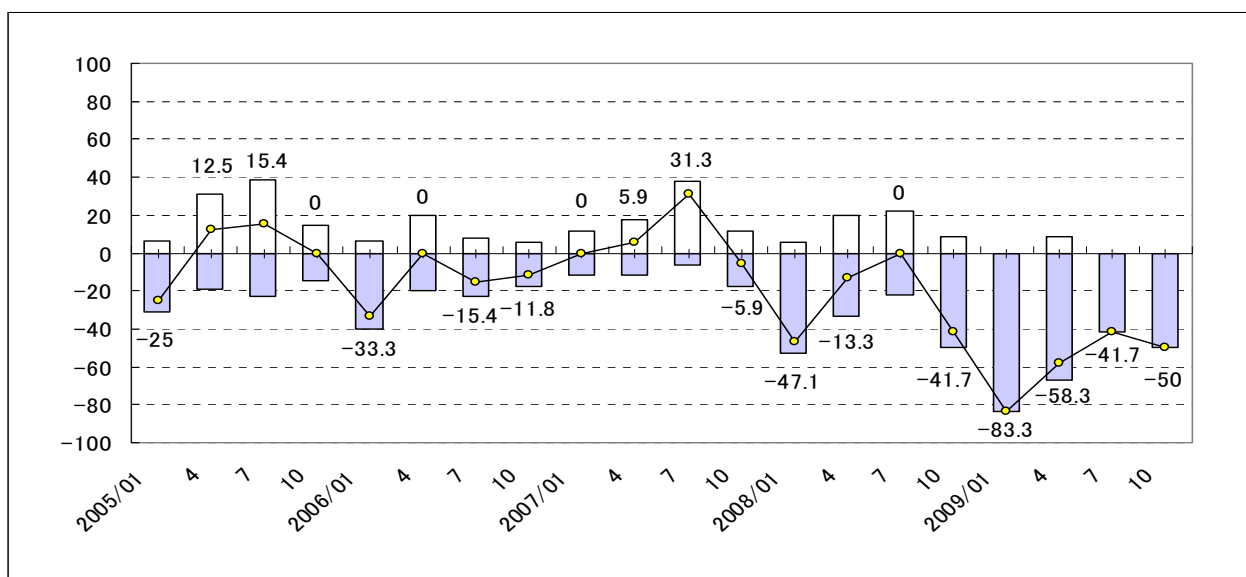
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	12	0	50	50	-50	12	0	25	75	-75	12	0	75	25	-25
客単価	12	0	41.7	58.3	-58.3	12	0	25	75	-75	12	0	66.7	33.3	-33.3
来店客数	12	25	25	50	-25	12	8.3	25	66.7	-58.3	12	0	66.7	33.3	-33.3

●商業全社の業況判断DIの推移：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-8



②観光・サービス業

「前年同期比」の業況判断D Iは、「悪化」とする施設が 60.9%を占めるものの「好転」とする施設が 8.7%あることから、同D Iは△52.2 と前回調査時の△60.9 から幾分改善した。

また、9月のシルバーウィーク等の効果から「3ヶ月前比」の業況判断D I及び宿泊客数D Iでは「好転」したとする企業割合が増加したことから、マイナス幅は縮小している。ただし、「3ヶ月後」の宿泊客数予想D Iでは91.3%の施設で「悪化」を見込み、同D Iは△82.6 と冬季の集客が課題となっている。飲食店からは、平日はサラリーマン客の減少、週末は家族客が新型インフルザによる学級閉鎖などの影響から減少しているとの声がきかれる。

- 上諏訪温泉 9月の宿泊客数はシルバーウィーク効果から前年比 10%程度増加したが、10月はその反動等から前年比 10%程度減少したところが多い。E T C休日割引の影響から週末は賑わうも、平日の集客が課題となっているとの声がきかれる。
- 蓼科・白樺湖・車山方面 10月の宿泊客数は、前年並みを維持しているホテル旅館があるものの△20%程度減少したところもあり、施設により区々となっている。
- 下諏訪温泉 シルバーウィークの反動等から前年比の宿泊者数は減少したところが多い。
- 諏訪大社 上社・下社を合わせた10月の参拝客数は約 44 千人と、前年同月比約△6 千人の減少となった。新型インフルエンザ等の影響により団体客が減少しているものの、E T C休日割引の効果から個人の参拝客は堅調である。

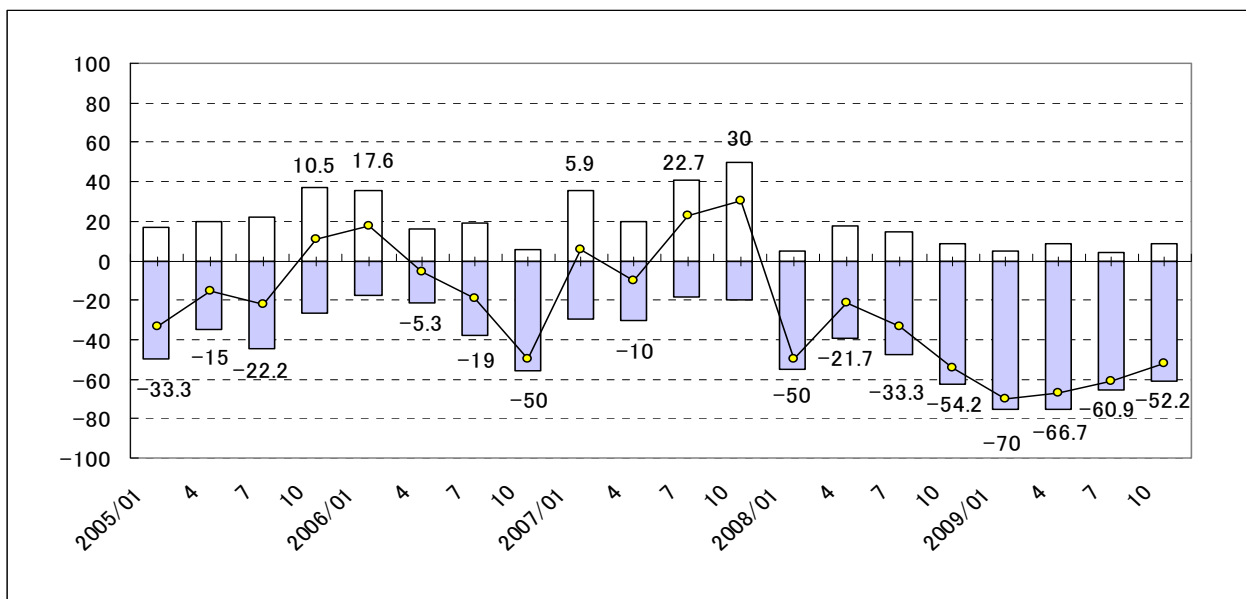
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	23	26.1	34.8	39.1	-13	23	8.7	30.4	60.9	-52.2	23	8.7	21.7	69.6	-60.9
客単価	23	0	60.9	39.1	-39.1	23	0	52.2	47.8	-47.8	23	8.7	26.1	65.2	-56.5
宿泊客数	22	22.7	22.7	54.5	-31.8	23	13	30.4	56.5	-43.5	23	8.7	0	91.3	-82.6

●観光・サービス業全社の業況判断D Iの推移：「前年同期」と比べて

グラフ-9



3. 建設業

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「好転」企業 6.7%、「悪化」企業 33.3%で同D Iは△26.7と前回調査時と同数値となった。また、受注状況は「3ヶ月前比」、「前年同期比」では「好転」したとする企業が幾分あるものの、「3ヶ月後」の予想では「好転」を見込む企業はなく先行きは慎重な見方となっている。

景況の落ち込みから引き続き住宅着工の動きは鈍く、土木工事も諏訪市の「平成 21 年 8・8 局地豪雨災害」の関連工事以外は弱含みの状況が続いている。

①建築工事

諏訪地方の9月の新設住宅着工件数は99戸で、昨年同月の152戸から△53戸(△34.8%)減少した。また、平成21年4月～9月の累計着工戸数は631戸で前年同期の855戸に比べ△224戸(△26.1%)と大幅に減少している。

②土木工事

長野県関係の10月の公共工事(地元業者受注分)は27件738百万円、平成21年4月～10月の累計契約額は106件2,775百万円と前年同期累計比では△21件、△280百万円の減少となっている。

また、市町村の10月の発注工事は、建築工事8件86百万円、土木工事・下水道工事91件687百万円、その他工事26件134百万円の合計125件908百万円となっている。

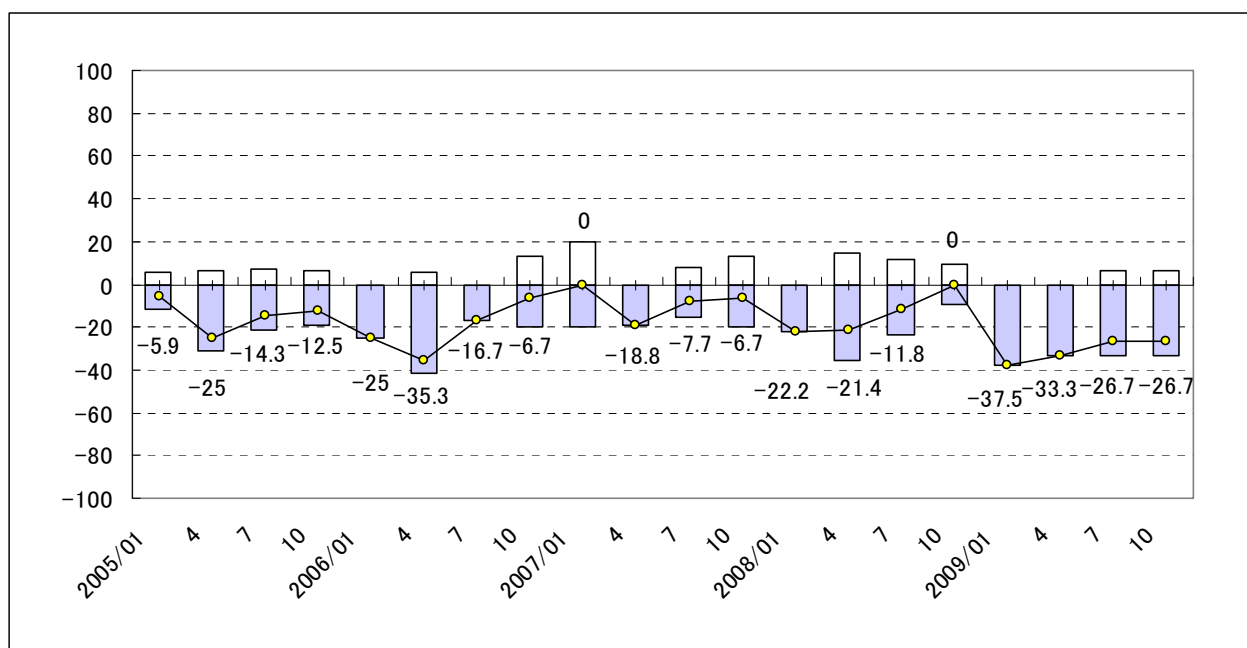
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	15	6.7	60	33.3	-26.7	15	0	46.7	53.3	-53.3	15	0	60	40	-40
受注状況	15	20	13.3	66.7	-46.7	15	13.3	20	66.7	-53.3	15	0	40	60	-60
外注発注量	15	0	46.7	53.3	-53.3	15	0	46.7	53.3	-53.3	15	0	40	60	-60

●建設業全社の業況判断D Iの推移：「3ヶ月前」と比べて

グラフ-10



4. 収益性状況

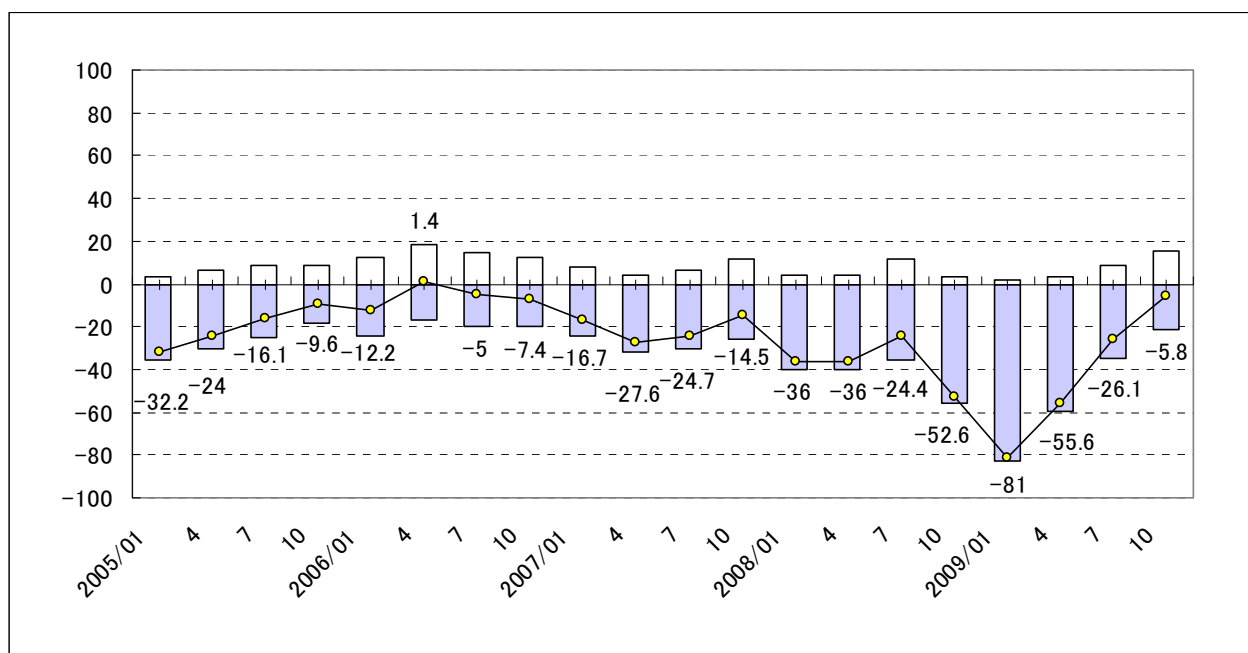
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性D Iは、「好転企業」13.3%、「横這企業」59.0%、「悪化企業」27.7%で同D Iは△14.4と前回調査時の△28.6から14.2ポイント好転した。

製造業は、「3ヶ月前」と比べ収益性が「好転」した企業が15.2%、「悪化」した企業が21.0%で同D Iは△5.8と前回調査時の△26.1から回復したものの、「3ヶ月後」の収益予想では29.4%の企業が「悪化」とみており楽観視はできない状況である。

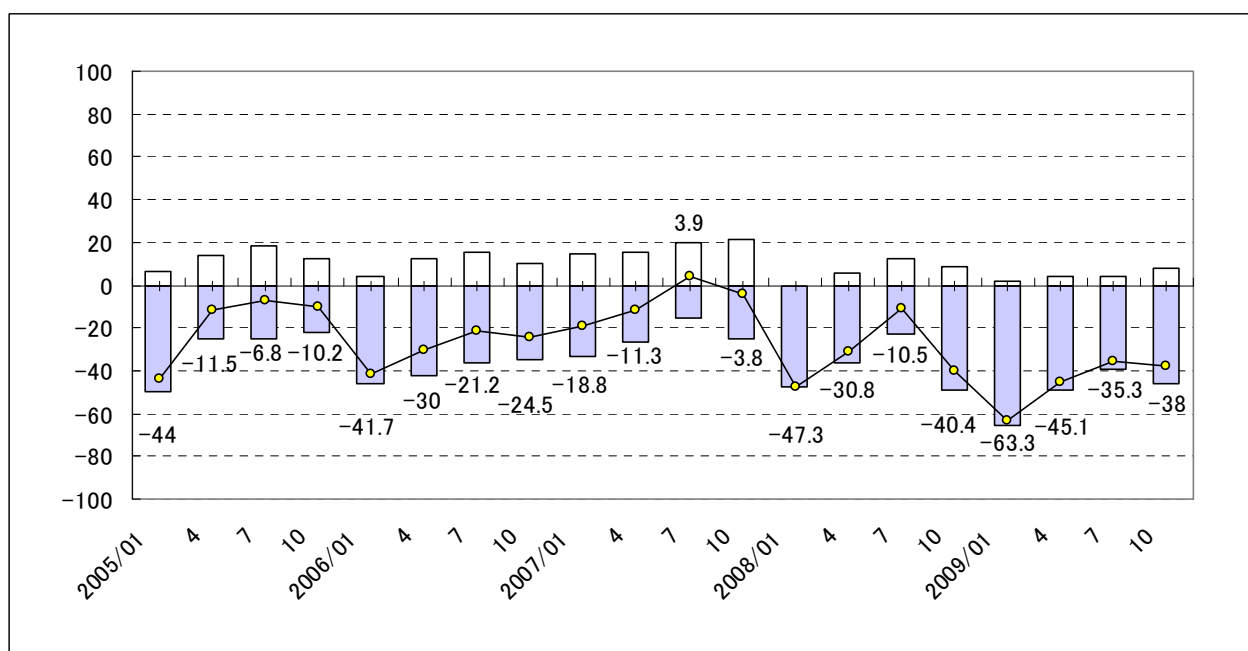
非製造業の「3ヶ月前比」の収益性D Iは△38.0と前回調査時の△35.3から幾分悪化した。

●製造業の収益性D I：3ヶ月前と比べて

グラフー11



●非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の収益性D I：3ヶ月前と比べて グラフー12



5. 経営上の課題

経営上の課題として、①製造業は売上減少、資金繰り、単価引下げをあげる企業が多く、②商業は売上減少、単価引き下げ、競争激化、③建設業は売上減少、競争激化、④観光・サービス業は売上減少、単価引下げ、資金繰りをあげている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	139	101	9	11	18
単価引下げ	54	39	5	3	7
競争激化	58	36	5	11	6
資金繰り	56	43	2	4	7
人件費	26	18	2	1	5
労働力確保	7	6	0	0	1

6. 諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【9月】	諏訪公共職業安定所	0.41倍	△0.80ポイント	
手形交換高【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	6,642枚	△3,694枚	
	金額	8,760百万円	△8,143百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	1枚	△1枚
	金額	294千円	△584千円	
電力使用量【10月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	44,870 MWh	△0.8%	
	高压電力計	92,534 MWh	△11.7%	
	合計	137,404 MWh	△8.4%	
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		989件	△8.3%	
新設住宅着工件数【H21.4~H21.9】(諏訪内)		631件	△26.1%	

7. 調査概要

DI調査：業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- 調査期間 平成21年10月末
- 調査内容 「平成21年10月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- 調査方法 アンケート調査（回答数 下記7）及びヒアリング調査（約120社）
- 対象地域 諏訪地域全域
- 業種 製造業、商業（大型店：売り場面積501㎡以上）、建設業、観光・サービス業
- 回答企業数 188企業
- 回答率 66.1%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業他	合計
依頼数	215	20	21	28	284
回答数	138	12	15	23	188